

うえだ オレンジベスト 見守り 情報

--- 上田市少年育成センター 通信 ---

上田市教育委員会生涯学習・文化財課 上田市 大手 1-11-16 上田市役所南庁舎 電話:23-6375 FAX:23-6368 令和7年1月10日 R6-5号

年頭にあたり 上田市少年育成センター 所長 上原 晶

新年あけましておめでとうございます。

少年補導委員の皆様には、日ごろより青少年の健全な育成、とりわけ街頭補導や環境チェック活動にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

1 新年を迎えて

新年をどのようにお迎えでしょうか。この1月12日に「二十歳を祝う式」が開催されました。今年は、成人者1,482人の皆さんが人生の輝かしい門出を迎えられ、大人の仲間入りいたしました。地域の代表の皆さんに来賓として御臨席いただき、厳かな中にも温かみのある式となりました。式典では成人代表から「誓いの言葉」として決意が述べられ、これからの社会を担っていく若者に大きな期待と希望を抱くことができました。成人の皆さんの今後のさらなるご活躍を祈念いたします。

2 少年補導委員について

少年補導委員は、かつては少年の「非行防止」が主な任務でありましたが、時代の変化とともに、子どもたちの課題の現れ方は多様化し、現在の主な任務は、子どもたちが安全で安心して過ごすことができる地域環境を維持していくための「見守り」活動に移行してきています。

そのような中で、地域の実情に応じた街頭活動などに取り組んでいただき、2年目を迎えた「地域見守り懇談会」は、地域と学校が連携を図り、地域の青少年の健全育成の充実につながるより有意義な会となりました。改めて、皆様の意識の高さと主体的な取組に敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

3 おすびに

今年度で少年補導委員を退任される方もおられるかと思えます。自治会連合会からの提案を受けて、この一年改善に向けて活動・組織の見直しを進め、来期から「少年補導委員」の名称を改め、新名称「こども安全安心見守り委員」による活動が始まります。新たな船出を前に、最後の少年補導委員としてご活躍いただいた皆様に改めて感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援を賜り、より一層、青少年の健全育成活動に対しご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

おめでとうございます

長野県将来世代応援県民会議会長表彰

宮本 美臣 さん (別所温泉地区) 上田市少年補導委員歴 12年

小山智恵子 さん (西部地区) 上田市少年補導委員歴 10年

長年にわたり青少年の育成に貢献された功績により、11月2日中野市で開催された長野県青少年健全育成県民大会において表彰されました。

おめでとうございます。

【順不同】

大会の内容は次頁に掲載します



「伸びよう 伸ばそう 青少年」「青少年は地域社会からはぐくむ」

長野県青少年健全育成県民大会 11月2日(土) 中野市市民会館ソラホール

主催 長野県子ども・若者育成支援推進本部 長野県将来世代応援県民会議 中野市 中野市教育委員会

第46回 少年の主張全国大会 ~わたしの主張2024~ 国立青少年教育振興機構奨励賞・令和6年度「少年の主張長野県大会」長野県知事賞受賞作品 発表



「いってらっしゃい」 飯田市立旭ヶ丘中学校 3年 宮下 心 さん

発表から

URL:<http://www.himawari-nagano.net/syonen-claim.html> (長野県大会について掲載されています)

「いってらっしゃい」は6年前、心筋梗塞で亡くなった父に、心さんが最後にかけての言葉です。宮下さんはあの日、寝坊をしてしまい父の目を見て「いってらっしゃい」が言えなかった後悔を語りました。日々の「あいさつ」や「会話」を大事に、相手の顔を見て話してほしいとの思いから「家族や友達と話せるという当たり前が、どれほど幸せなことなのかを思い、大切な人と過ごす時を大切にしてほしい。父ともう話すことのできない私からのメッセージです」と発表しました。

現状報告 小中学生の豊かな心と体の育成を目指して ~ 中野市の取り組みの一例 ~

中野市放課後子ども総合プラン指導員 頓所 文明 氏

◆次世代の親となる中学生のための子育て理解講座

中学生を対象に、学年に応じた性教育講座を平成15年から実施。

助産師を講師に「生」と「性」を学び、大人になる、親になるための準備、ライフプランを考えたり、自己肯定感を高める等の内容で心身の成長を促すことを目指している。

◆放課後子ども教室「ぼっぷ教室」

小学校を単位として放課後の時間に、地域人材の教育力を生かし、子どもの育ちをサポートする事業を平成16年から実施。

今年度からは、異年齢集団でのあそびや体験活動の機会を市内全7校で実施することが可能になった。

講演 次世代につなぐ地方の創生 ~ 育もう、地域への思い ~

三井住友信託銀行(株)顧問 (前 内閣府 地方創生推進事務局長) 市川 篤志 氏

安倍元首相が提唱し岸田前首相に引継がれた「地方創生」施策から、市川氏が内閣府勤務時代に関わった「デジタル田園都市国家構想」について講演されました。

人口減少の中、過度な東京への一極集中による多様性の喪失について「豊かさ」「幸せ」「愛着」「自然」「スポーツ」等の価値観の視点からのお話でした。

田園都市のコミュニティ創りでは、コロナ禍でテレ(リモート)ワークが行われ、企業は人材確保の観点からサテライトオフィスを

設置。若年層が地方への関心を高め、初めて首都一極集中の傾向に変化が生じ、地域分散しながらも相互につながる社会が具現し始めた。

多様な価値観の実現策として、分散型の社会の構築に目が向けられ「定住人口」でなく「関係人口」増が、唯一無二の人生を設計し実現できる地域づくりの指標となっている。

「地方創生」では魅力あるコミュニティ創り、地域内での人と人のつながり創りが「関係人口」増のチャンスとなる。

子育て環境と女性活躍のコミュニティの例として、自然保育・閉校校舎利用・居場所としての図書館・屋内公園等々から「愛着」「知る事」「使いたい感」などの価値観を実現した地域社会の実績が紹介されました。



少年補導委員の活動紹介

少年育成センター活動A 11月8日(金)

〈まちなかキャンパスうえだ・カラオケジョイスOUND・市街地〉



今年度5回目の活動は、地域と学生の連携拠点「まちなかキャンパスうえだ」(通称まちキャン)、中心市街地の「カラオケ JOYSOUND 上田店」、高校生下校時間帯の繁華街「袋町」の訪問・巡回を、川西地区の(代表)委員さんに協力をいただき実施しました。

○まちキャンでは、上田女子短期大学の上田電鉄別所線ガイドボランティアチームの2名の学生さんに、活動を発表していただきました。2人は長野市出身。上田市で歴史や車窓・地域の魅力をはかま姿で乗車ガイドする活動を続けています。短大のwebサイトには「バーチャル別所線ガイド」活動動画が公開されています。

○ジョイスOUNDは、街中に有る(老舗の)カラオケ店です。店長さんから未成年者への対応やお店のシステム等をうかがい、パーティールームを含め、複数の部屋と店内を案内していただきました。引き続き青少年の見守りと適切な対応をお願いしました。

○日没直前の袋町の巡回は2回目となります。巡回のきっかけとなった不審な人物には遭遇しませんでした。大工町の利用しなくなった店舗まわりには、人目につきにくい場所があることや街灯が少ないことなどが目に付きました。女子高生がひとりりで歩く姿もありました。学校・自治会と情報交換をしながら市民の目で安全安心に取り組みたいです。

市街地巡回マップ



青少年 善行 表彰式 ・ 「家庭の日」の作文表彰式

上田市では青少年の健全育成のため、少年補導委員による街頭活動と同時に、地域社会で青少年が自ら活動する善行や、明るく健やかな家庭づくりを推奨しています。

去る 11 月 23 日(土)、上田創造館文化ホールにおいて、土屋陽一 市長、酒井秀樹 教育長が出席し、表彰式を行いました。



青少年善行表彰は9団体、「家庭の日」の作文は 優秀賞4名・優良賞 11 名が表彰され、市長・教育長から温かな激励の言葉がおくられました。「家庭の日」の優秀賞作文として、当日代表して朗読された作品と 善行表彰の皆さんの活動を紹介します。



「家庭の日」の作文 優秀賞作品

「ぼくの父ちゃん」 上田市立神科小学校 四年 翠川 柗吾

ぼくの父ちゃんは、おこるとこわいですが、でも、やさしい所もたくさんあります。色々な所につれて行ってくれたり、習い事の送り迎えもしてくれます。

ぼくは、スイミングと、すもうと、ボクシングと、じゅう道をがんばっています。父ちゃんとは、ボクシングをいっしょにやっています。練習をして、分らない事は教えてくれます。父ちゃんは毎回練習に行くけど、いつも元プロボクサーと練習をします。やっぱり元プロボクサーのパンチは強いので、鼻血が出ます。でも何度うたれても立ち向かっていくので、ゆう気があふれていて、すごいと思います。さい近は、うたれ強くなって、鼻血の出る回数が少なくなりました。

ぼくは、三月までレスリングを習っていました。父ちゃんもいっしょに、レスリングの練習をしてくれました。なんと去年、レスリングの経験がないのに、長野県の大会に出ました。大会に出る前に、小諸商業高校と佐久平総合技術高校へ、出がいこに行きました。そこでは、お兄ちゃんやお姉ちゃん達が、たくさんいました。じゅんび体そうからいっしょにやって、スパリングをしました。父ちゃんは、高校のお兄ちゃんと本気で戦って、技を覚えてもらいました。何度も何度も練習しました。しあいいけっ果は負けちゃったけど、みんなが父ちゃんの試合に感動をして、おうえんしてくれました。ちよう戦をした父ちゃんは、本当にすごいパワフルなスーパー父ちゃんです。ぼくは、そんなすごい父ちゃんが大好きで、自まんの父ちゃんです。

父ちゃんのすごい所は、まだ他にもあります。料理が上手です。ぼくが、父ちゃんの料理で一番好きな物は、たくさんあってなやんだけど、その中で天ぷらと、ギョーザがうますぎて、一番を決められませんでした。

天ぷらは、衣と、あげぐあいが最高に上手くて、いくらでも食べられます。ギョーザは、ニラがたくさん入っていて、ジュシーな肉汁たっぷりです。これもいくらでも食べられるうまさです。

「父ちゃんおいしい料理をいつもありがとう。」

父ちゃんと、ぼくの共通のしゅみは、車が好きです。ぼくは、スーパーカーが大好きです。その中でも、フェラーリが二人共好きですけど、高くてとても買えません。でも一生に一度は、乗ってみたいですね。そのためにぼくは、がんばってお金をかせげる大人になりたいです。何の仕事で、かせぐかは、これからじっくり考えます。父ちゃんには、好きな車を買ってあげられるまで、元気でいてほしいので、これから一緒に体をきたえていこうね。

「父ちゃん長生きしてね。」

善行表彰の皆さん

神科小学校6年4組

閉鎖されていた玄蕃山公園マレットゴルフ場を、長島自治会と神科小学校が中心となって「玄蕃山夢プロジェクト」として里山整備を令和5年から開始し、特に神科小学校6年4組(開始当時は5年4組)が精力的に活動した。

令和5年度は旧マレットゴルフ場での階段作りとチップ遊歩道作りを自治会役員と共同で行う一方、「どうすれば玄蕃山が活性化するか」を小学生が自ら考えた。

令和6年度は構想実現のため、①遊歩道への花壇新設と花の植え付け ②旧マレットゴルフ場を活用したマレットゴルフ体験 ③農園づくりなどを、自治会等の支援を受けながら小学生が独自に行った。

一連の取組みにより、玄蕃山を訪れる人が戻りつつある。地域を明るくするとともに、子どもたちには達成感や自己肯定感が育まれている。

舞田こども会

舞田こども会の小学生(4-6年生)の皆さんは、上田電鉄別所線舞田駅の花壇の整備活動の地域貢献を 20 年間にわたって継続している。

植栽活動は全員で行い、水やりは当番を決めて分担して取り組んでいる。



花壇への植栽作業

花壇は、地元の人はもとより別所線を利用している多くの人の癒しとなっている。長年にわたる花壇づくりをおして、地域の駅の美化に取り組むことで、子どもたちには、ふるさとを愛する心が育まれている。

善行表彰の皆さん (つづき)

上田高等学校 カンボジア井戸プロジェクト

東南アジアの途上国支援として、カンボジアの水道設備の整っていない地域に井戸を掘る活動により、これまで10基の井戸を届けてきた。活動は2017年に始まり、1基10万円の資金集めのための様々な活動を年間をとおして行い、有志が代々プロジェクトを引き継いでいる。

カンボジアを訪問して、井戸の整備に立会い、孤児院や小学校など多くの人々と交流し、現地を五感で感じたプロジェクトメンバーは、活動で学んだこと



カンボジア訪問

を日本の子どもたちと共有するため 清明小学校・東小学校・第二中学校で出前授業を行い、世界の現状を伝え、考える機会をつくった。

このほか、不要な服を集めてポリオワクチンをミャンマーやラオスに送る「古着Deワクチン」運動や、バザー・赤い羽根協同募金等に活動の幅を広げている。

国内外の困難を抱える人々の支援に積極的に取り組み、国際交流・国際貢献での学びを地域に還元する活動を自主的に実践している。

上田染谷丘高等学校 地域貢献し隊

ダンスサークル所属の生徒4人が、総合的な探究の時間でテーマとした「地域への貢献」を具体化するため、令和5年度から「地域貢献し隊」を結成し、地域の様々な場所に出かけ、ダンスを通じた地域の活性化に貢献する活動を展開している。

令和5年秋の「市民の森まつり」では運営ボランティアに加え、ステージではダンスを披露し、参加者に元気と笑顔をお届けした。地域と関わる大切さや充実感から、生徒達は更に出来ることはないかと考えるようになった。

その後、東小学校でのダンス指導に参加した。「地域を盛り上げ、身近な人を笑顔にしたい」との思いをさらに発展させるために「まちなかキャンパス」へ通い、地域社会と繋がる活動を重ね、小学生から大人まで多くの方との繋がりをもち幅広く活動している。

地域貢献したいとの思いを、様々な形で継続している。



ボランティアとステージ発表

上田西高等学校生徒会

上田千曲高等学校生徒会

上田高等学校生徒会

上田染谷丘高等学校学友会

上田東高等学校生徒会

令和6年1月1日の能登半島地震発生に際し、「身近な地域の高校生が連携して支援活動を行うことができないか」と考えた上田西高校生徒の呼びかけに、上田地域5校の生徒会・学友会が賛同し、2月4日、上田西高校、上田千曲高校、上田高校、上田染谷丘高校、上田東高校の5校の生徒による合同募金を上田駅前で開催した。

募金は社会福祉協議会を通じて被災地支援に充てた。

能登半島震災発生後の5校合同による自発的な募金活動は、災害に対する高校生の支援の熱意を市民に伝えるとともに、その姿は多くの人々に善意・勇気・連帯の大切さを啓発する機会となった。



2024年2月4日 上田駅前活動

令和6年度

定期街頭活動計画

上田市少年補導委員会

下記を参考に、各班で活動の計画をよろしくお願ひします。

1日 東部 A B

6日 北部 A B

11日 中塩田 A B

16日 依田 長瀬 塩川

2日 神川 A B

7日 西部 A B C

12日 西塩田 別所温泉

17日 長 傍陽 本原

3日 南部 A B

8日 城下 A B

13日 川辺泉田 A B C

18日 武石

4日 中央 A B

9日 神科 A B

14日 川西 内村

5日 塩尻

10日 豊殿 東塩田

15日 丸子中央 A B



お知らせ 掲示板

1/23 (木) 理事会<市役所>

2/6 (木) 少年育成センター活動「こども食堂訪問」<指定班>

2/27 (木) 理事会・全体研修会<文化会館・中央公民館>・・・オレンジユニフォームの返却

※ 令和7-8年度(任期2年)の『こども安全安心見守り委員』の推薦を 地区自治会連合会様をお願いしています。御協力をよろしくお願ひします

毎月 第三日曜日は
「家庭の日」 です

